

2020年3月期第2四半期 決算説明会資料

■本資料における注意事項

この資料には、2019年11月現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

■お問合せ先：白銅株式会社 経営企画本部長 關濱 亮

T E L 03-6212-1581 F A X 03-6212-2826

ホームページ<https://www.hakudo.co.jp/>

あたらしい、を、素材から。



目次

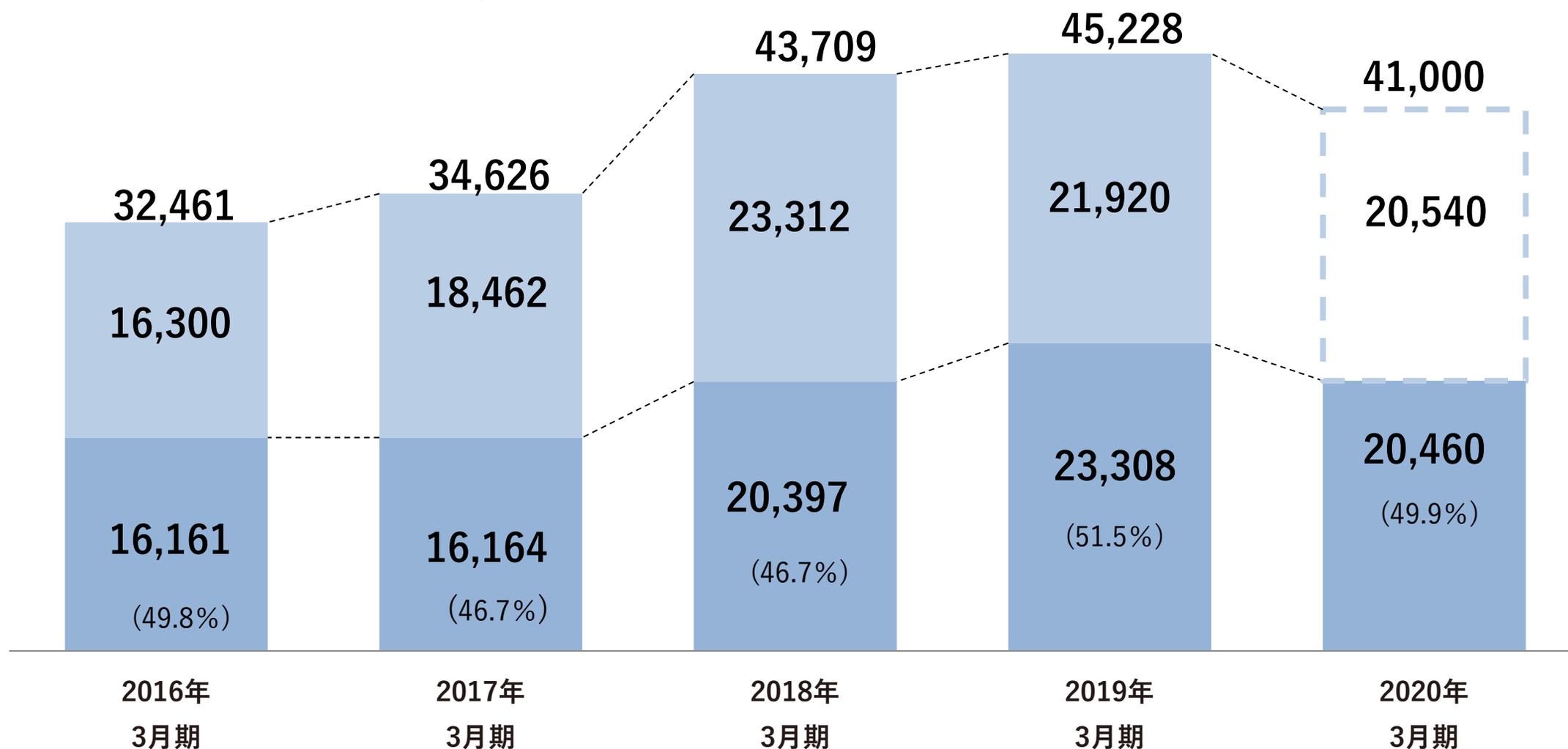
1. 【連結】業績推移	2頁
2. 【連結】販売の状況	6頁
3. 【連結】損益の状況	7頁
4. 2020年3月期【連結】業績予想	8頁
5. 【連結】貸借対照表	10頁
6. 【連結】キャッシュ・フロー	11頁
7. 事業環境	12頁
8. 重要施策	14頁
9. 株主還元	18頁

1. 【連結】業績推移（1）直近の売上高推移

売上高は前年同四半期比 12.2% 減少

- ◆ 半導体製造装置業界とF P D製造装置業界は世界的な需要の減少を受け設備投資が急減速した
- ◆ 工作機械製造業界も内需及び外需ともに減速した
- ◆ 地金相場下落も売上高減少に影響した

単位：百万円



※ ■ が上半期実績 () 内は通期に対する占有率、■ が下半期実績を示す。

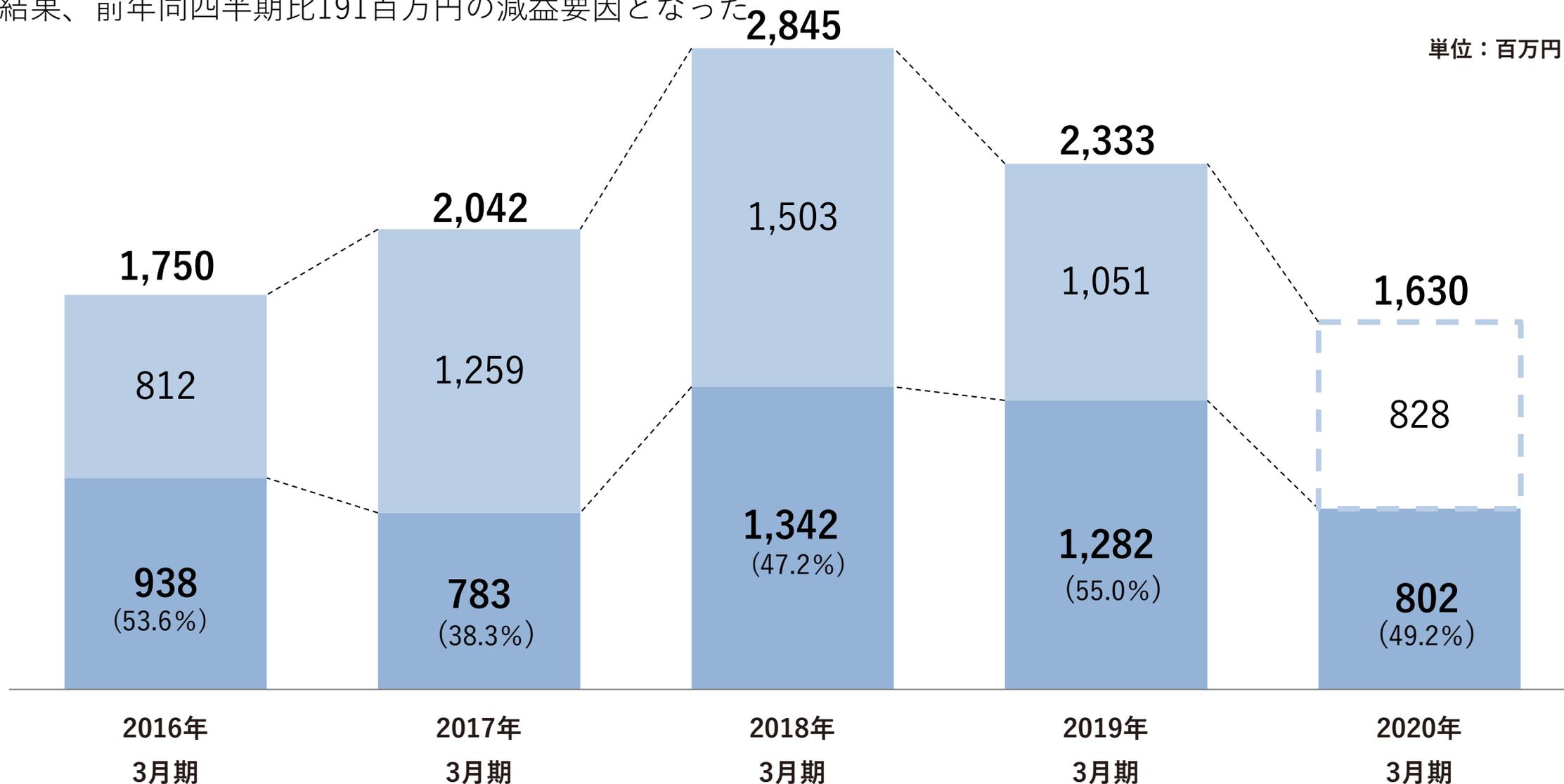
■ は通期業績予想達成に必要な金額を記載

1. 【連結】業績推移（2）直近の経常利益推移

経常利益は前年同四半期比 37.4% 減少

◆ 商品在庫に係わる相場差損が101百万円発生した（前年同四半期は相場差益90百万円）

◆ 結果、前年同四半期比191百万円の減益要因となった

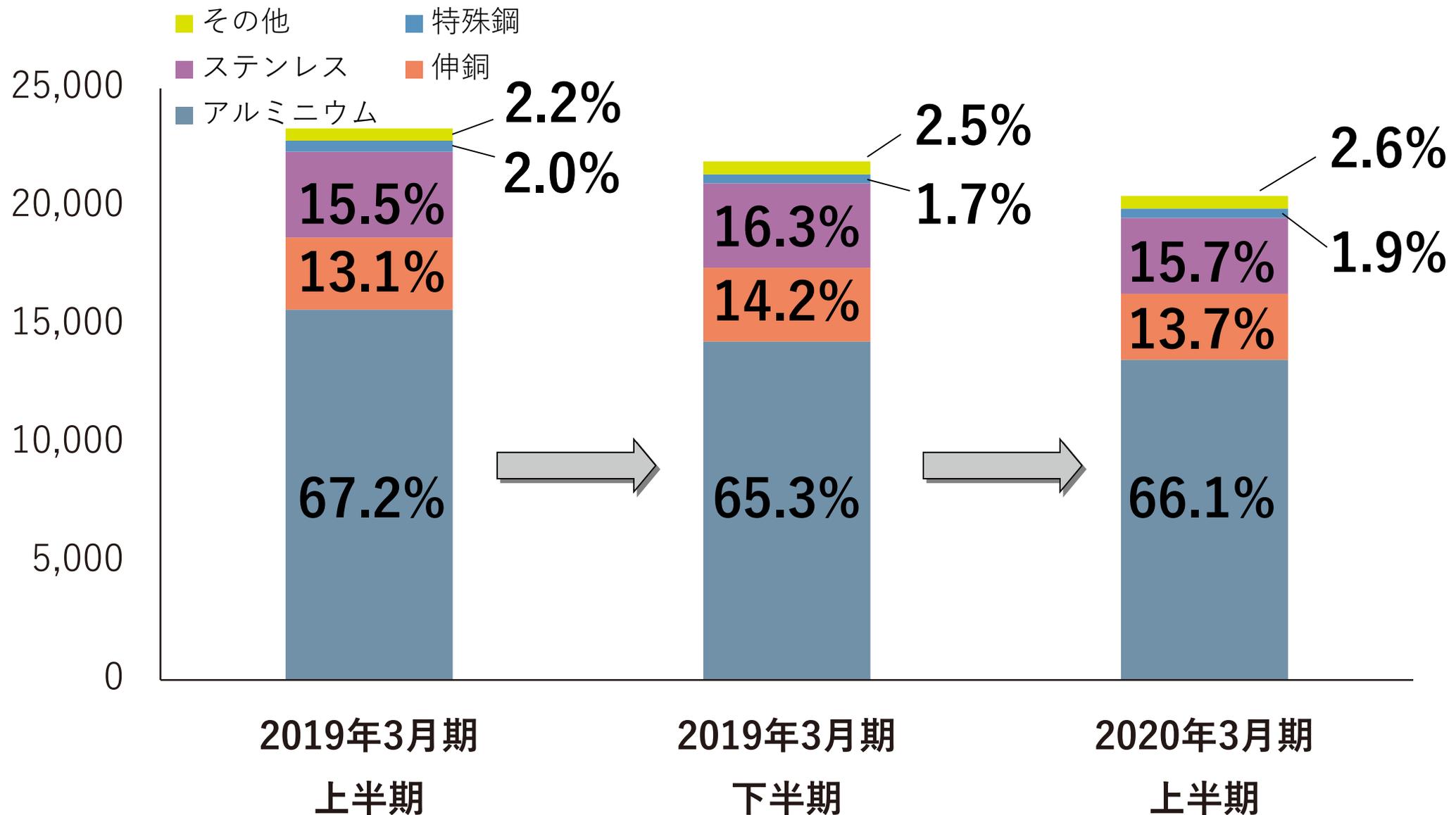


※ が上半期実績、 内は通期に対する占有率、 が下半期実績を示す。
 は通期業績予想達成に必要な金額を記載

1. 【連結】業績推移（3）売上高の構成比率（品種別）

前年同上半期比でアルミニウム製品の比率が1.1ポイント減少

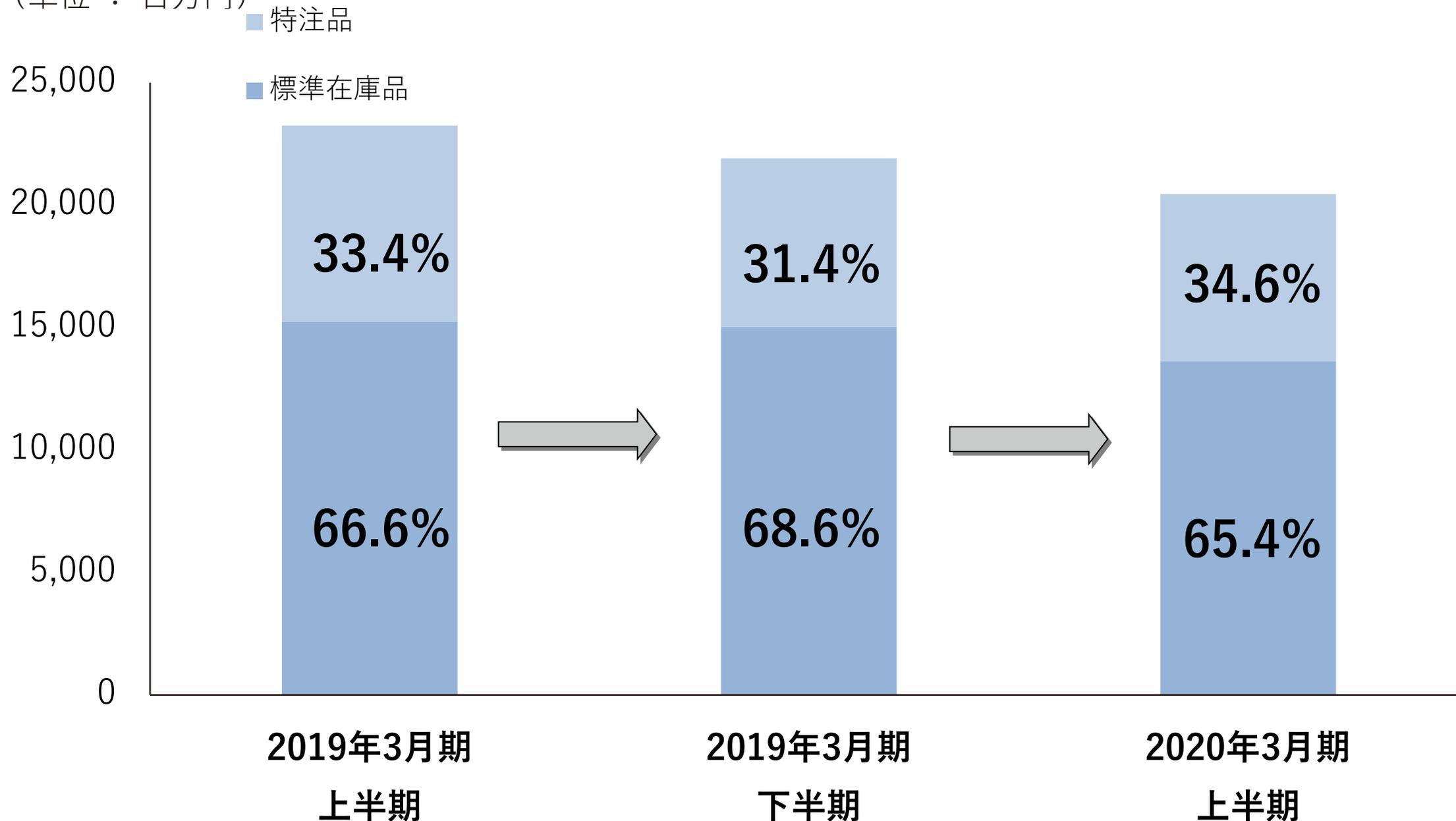
(単位：百万円)



1. 【連結】業績推移（4）売上高の構成比率（標準在庫品・特注品別）

前年同上半期比で標準在庫品売上高の比率が1.2ポイント減少

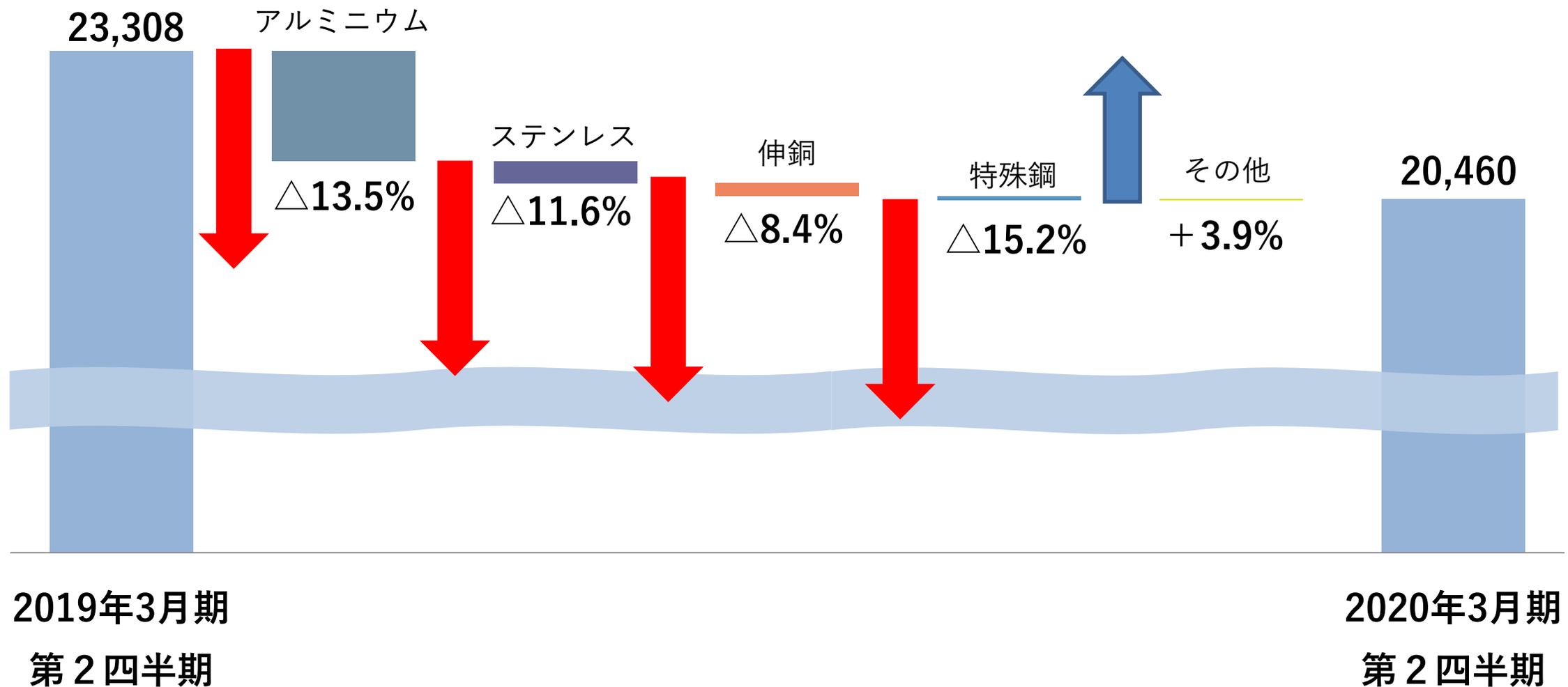
（単位：百万円）



2. 【連結】販売の状況 前年同四半期と比較した売上高変動内訳（品種別）

主力のアルミニウム製品を含め全般的に売上高が減少

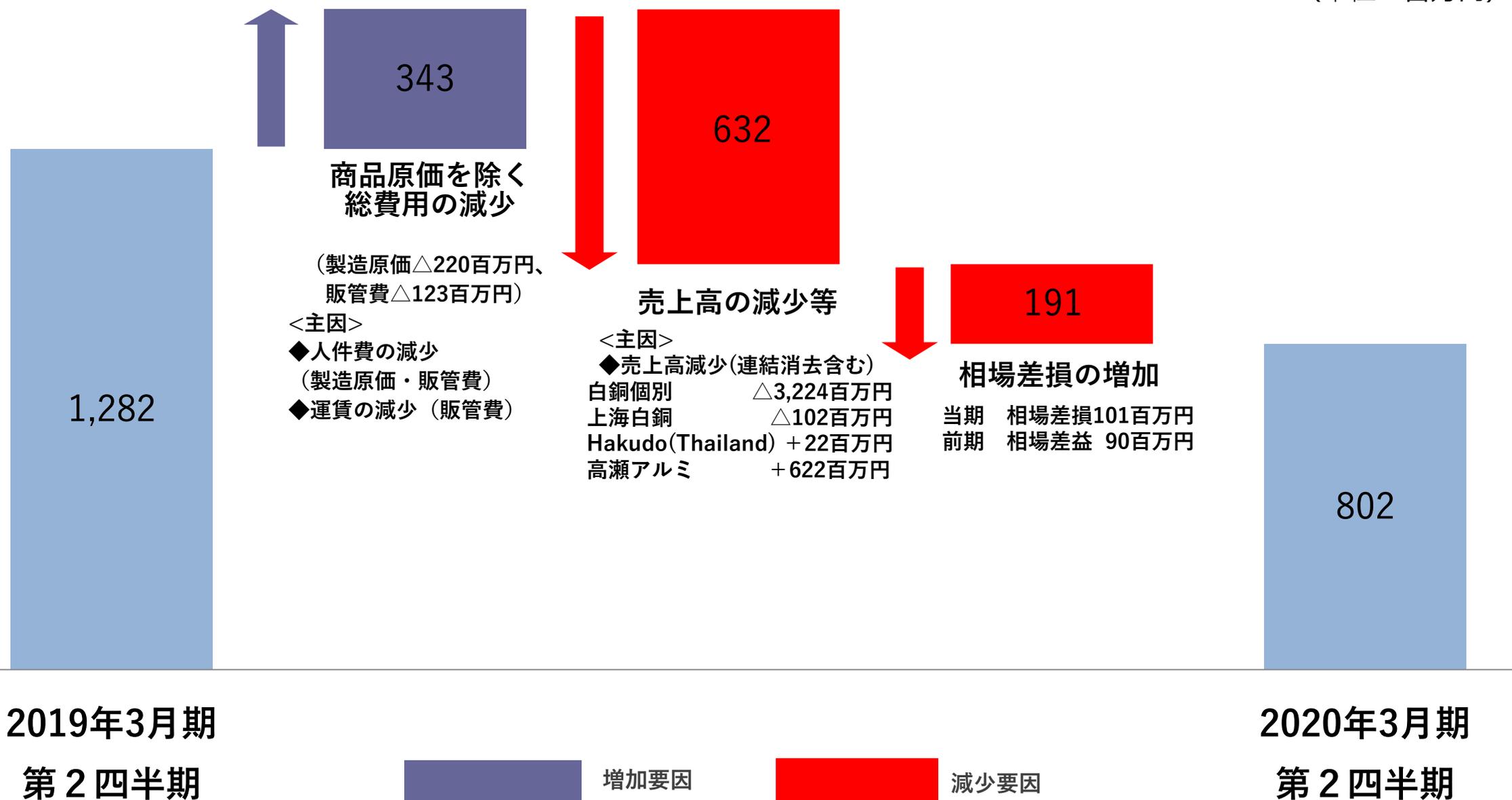
（単位 百万円）



3. 【連結】損益の状況 経常利益差異要因（前年同四半期比）

売上高の減少と原材料市況の影響により減益

（単位 百万円）



4. 2020年3月期【連結】業績予想（1）

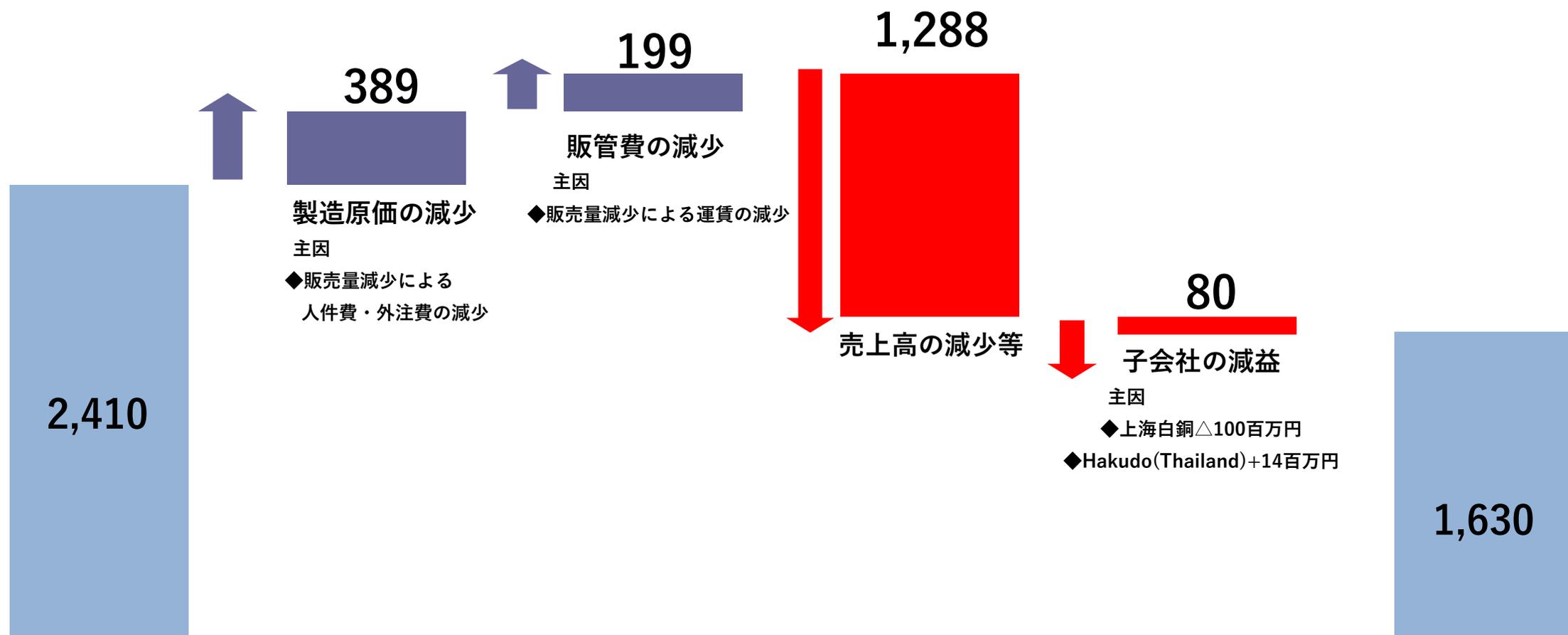
（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	45,400	2,330	2,410	1,630	143.71
今回修正予想 (B)	41,000	1,560	1,630	1,090	96.10
増減額 (B-A)	△4,400	△770	△780	△540	—
増減率	△9.7%	△33.0%	△32.4%	△33.1%	—
前期実績	45,228	2,249	2,333	1,564	137.98
対前期増減率	△9.3%	△30.7%	△30.2%	△30.4%	—

※2019年10月9日発表の修正予想

売上高の減少と子会社の利益減少による予想修正

(単位 百万円)



2020年3月期
連結業績予想
(期初発表)

2020年3月期
連結業績予想
(修正)

■ 増加要因

■ 減少要因

5. 【連結】貸借対照表

<貸借対照表(前連結会計年度末比)>

単位：百万円

資産の部	2019年3月末	2019年9月末	増減	負債及び純資産の部	2019年3月末	2019年9月末	増減
流動資産	25,343	21,765	△3,577	流動負債	16,630	13,525	△3,104
現金及び預金	6,087	4,115	△1,971	支払手形及び買掛金 (含 電子記録債務)	14,428	12,202	△2,226
受取手形及び売掛金 (含 電子記録債権)	13,330	11,838	△1,492	1年以内返済予定の 長期借入金	357	—	△357
棚卸資産	5,865	5,735	△130	未払金・未払費用	939	688	△250
				未払法人税等	372	286	△85
固定資産	8,273	8,306	33	固定負債	57	54	△3
有形固定資産	6,835	6,911	76	純資産	16,928	16,492	△435
無形固定資産	406	417	10				
資産合計	33,616	30,072	△3,544	負債及び純資産合計	33,616	30,072	△3,544

■ 主要項目の増減要因分析

①流動資産 21,765百万円（前連結会計年度末比 3,577百万円減少）

- ・ 配当金、法人税等の支払いによる現預金の減少
- ・ 売上高が減少したことによる受取手形及び売掛金の減少

②固定資産 8,306百万円（前連結会計年度末比 33百万円増加）

- ・ 有形固定資産の増加76百万円（機械装置 353百万円購入）
- ・ 無形固定資産の増加10百万円

③流動負債 13,525百万円（前連結会計年度末比 3,104百万円減少）

- ・ 仕入高減少による支払手形及び買掛金の減少
- ・ 高瀬アルミの長期借入金返済

④純資産 16,492百万円（前連結会計年度末比 435百万円減少）

6. 【連結】 キャッシュ・フロー

前期末が休日であった為、一次的に運転資金が増加し、営業活動によるキャッシュフローがマイナスとなった

(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	差額
営業活動による キャッシュ・フロー	1,831	△61	△1,892
投資活動による キャッシュ・フロー	△518	△656	△137
財務活動による キャッシュ・フロー	△850	△1,230	△380
現金及び現金同等物 に係る換算差額	△11	△25	△14
現金及び現金同等物 の期末残高	6,354	4,116	△2,238

主な内訳

①営業活動によるキャッシュ・フロー

△61百万円

・税金等調整前当期純利益	:	802百万円
・減価償却費	:	434百万円
・売上債権の増減額 (△は増加)	:	1,470百万円
・棚卸資産の増減額 (△は増加)	:	108百万円
・仕入債務の増減額 (△は減少)	:	△2,222百万円
・法人税等の支払額	:	△334百万円

②投資活動によるキャッシュ・フロー

△656百万円

・有形固定資産の取得に伴う支出	:	△575百万円
・無形固定資産の取得に伴う支出	:	△215百万円

③財務活動によるキャッシュ・フロー

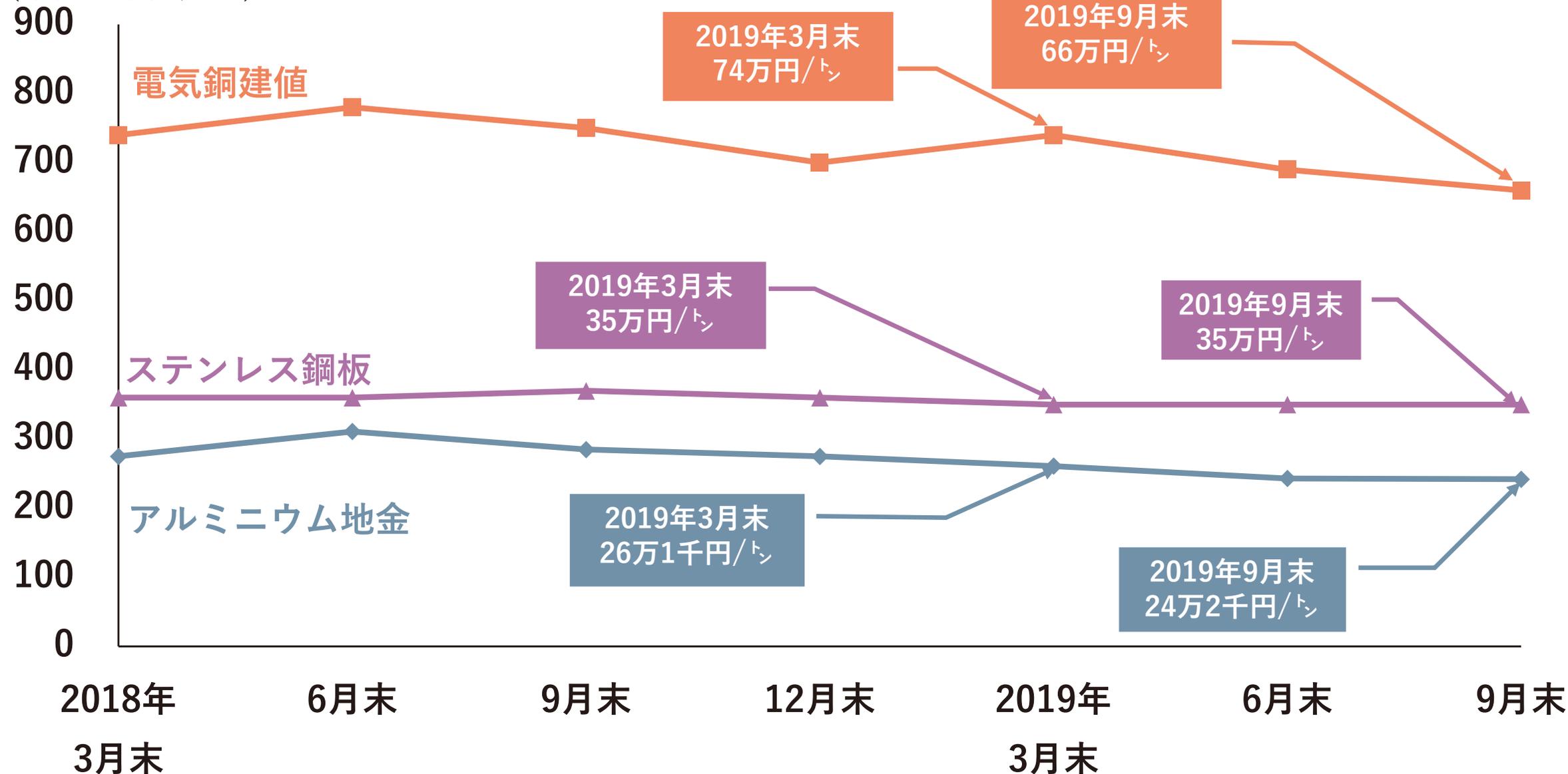
△1,230百万円

・借入金返済による減少	:	△357百万円
・配当金支払による減少	:	△873百万円

7. 事業環境 (1) アルミニウム・銅・ステンレスの原材料市況

主力商品のアルミニウム地金は下落傾向

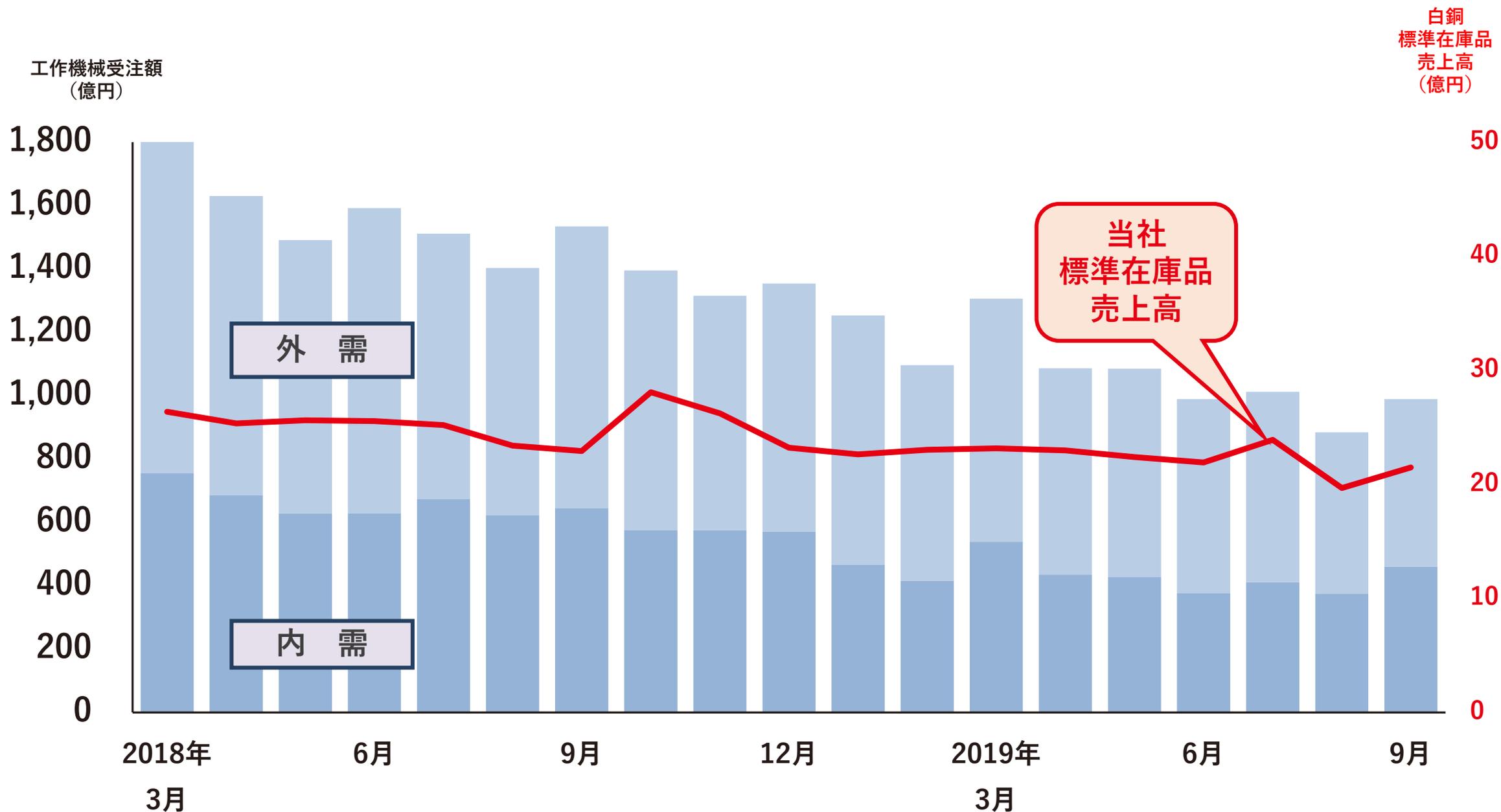
(単位：千円/ト)



ステンレス鋼板 : 鉄鋼新聞月別中心値
アルミニウム地金 : 日本経済新聞月別平均値

7. 事業環境（2） 工作機械受注額と当社標準在庫品売上高との比較

工作機械受注額は外需・内需ともに減少傾向継続



出典：日本工作機械販売協会 工作機械受注統計

8. 重要施策（1）－1

<ダントツの品質・ダントツのスピード・ダントツのサービス・納得の価格の実現>

◆ ロボットなど、省人・省力化生産設備の積極投入、製造現場のIoTの推進による製造現場の革新

【過去の投資実績と今期の予定】

固定資産取得額

2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期 (予定)
百万円									
226	102	295	599	857	683	1,342	1,311	1,300	978

設備投資の効果により、2019年3月期の当社工場の生産能力は、2014年3月期と比較し1.3～1.8倍に増強した

【製造関連の返品発生件数率】

直近3年で発生件数率が最も高かった2018年3月期上半期と比較し2019年度上半期は約1/3に減少

【納期繰延発生率（カタログ納期より遅延した件数率）】

直近3年で発生件数率が最も高かった2017年3月期下半期と比較し2019年度上半期は約1/10に減少

◆ ウォータージェット、マシニングセンタ等加工機能の増強

・ ウォータージェットを新規導入し航空宇宙業界を中心に販売展開する。

導入工場 : 滋賀工場

販売開始日 : 2020年2月（予定）

加工範囲 : X 4,000mm Y 2,000mm Z 300mm

・ 2020年1月に滋賀工場にて J I S Q 9 1 0 0（航空宇宙）認証取得予定

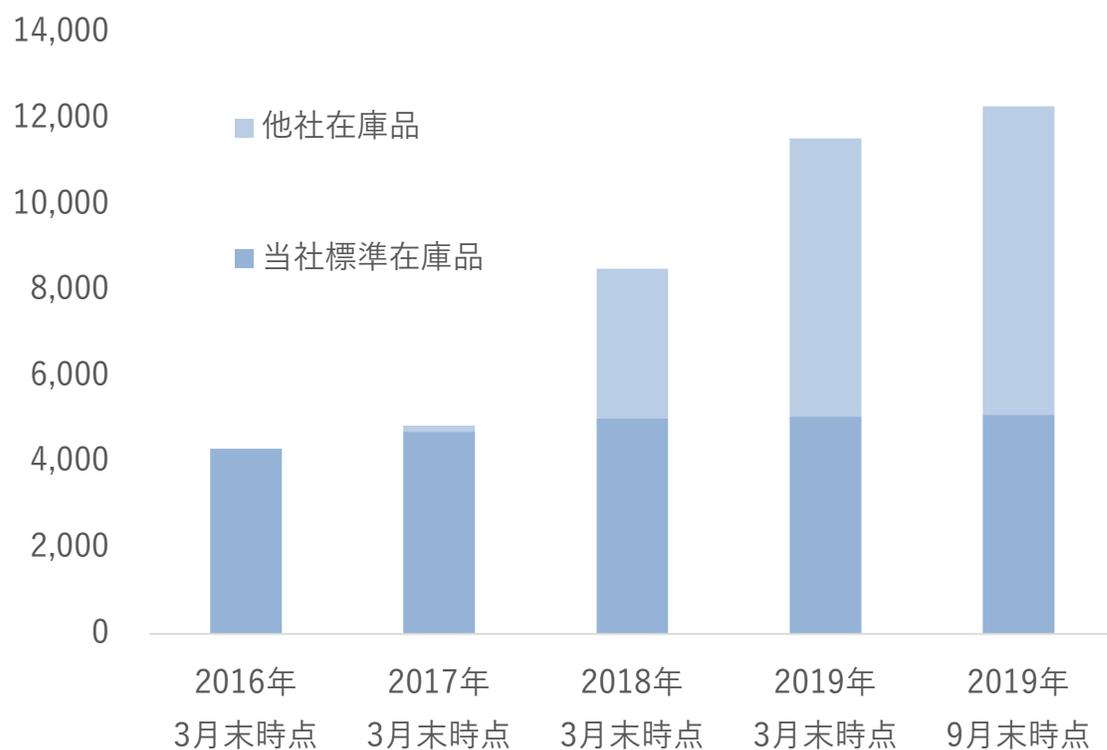


8. 重要施策（1）－2

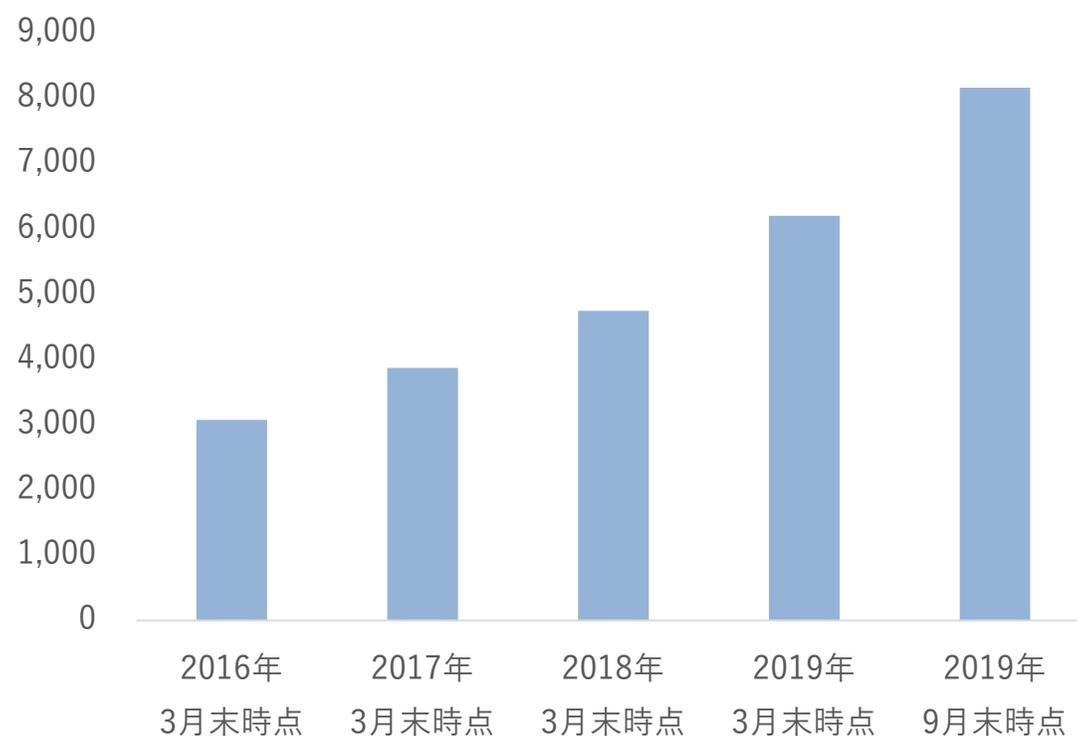
<ダントツの品質・ダントツのスピード・ダントツのサービス・納得の価格の実現>

- ◆ 「航空宇宙規格材料シリーズ」・「エコシリーズ」・「ハイスペックシリーズ」など需要拡大が見込まれる特徴のある材料の充実
- ◆ 「白銅ネットサービス」の更なる利便性の向上
2019年9月末時点で、当社標準在庫品と他社在庫品合わせて12,200品目サイズがご利用可能

【白銅ネットサービス ご利用可能アイテム数】



【白銅ネットサービスご利用登録社数推移（累計）】

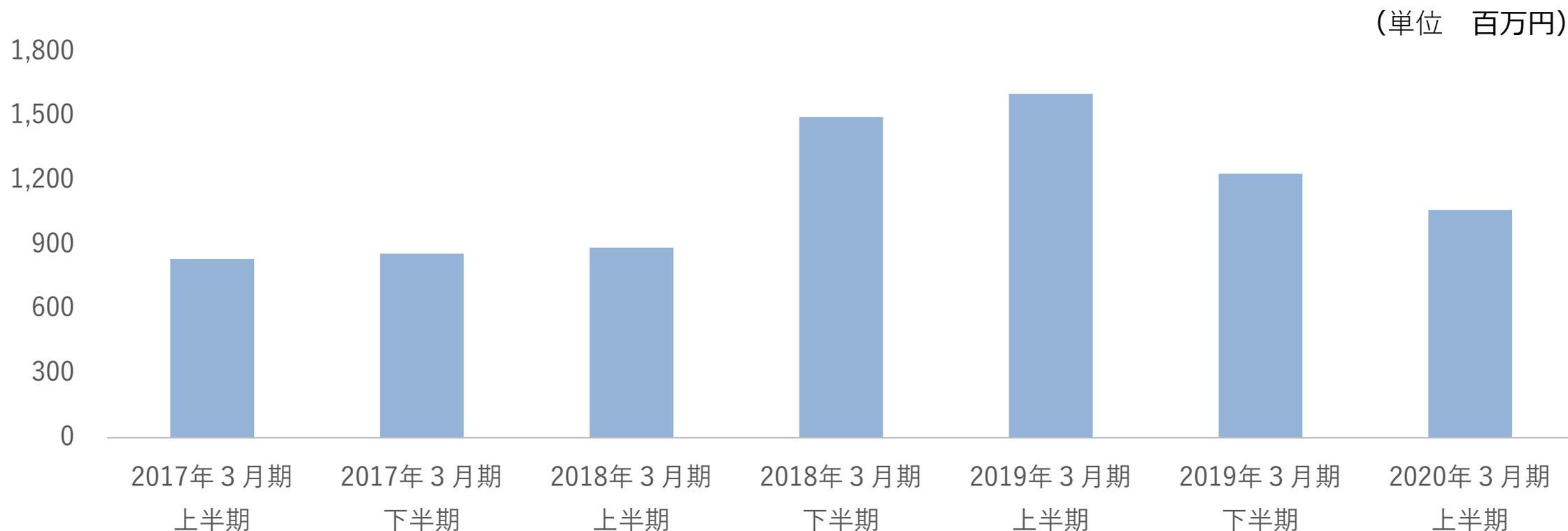


8. 重要施策（2）

< 海外事業の強化 >

- ◆ アジア全域への非鉄・ステンレスのオーダーメイドプレート販売網の確立
- ◆ 上海白銅精密材料有限公司の「上海白銅ネットサービス」やお客様センターの対応品質向上による顧客満足度の向上
- ◆ 既に拠点のあるタイ及びベトナムを含む東南アジア地域の売上拡大

【海外事業の売上高※推移】



※日本から海外子会社以外への輸出売上高と海外子会社の売上高の合計金額

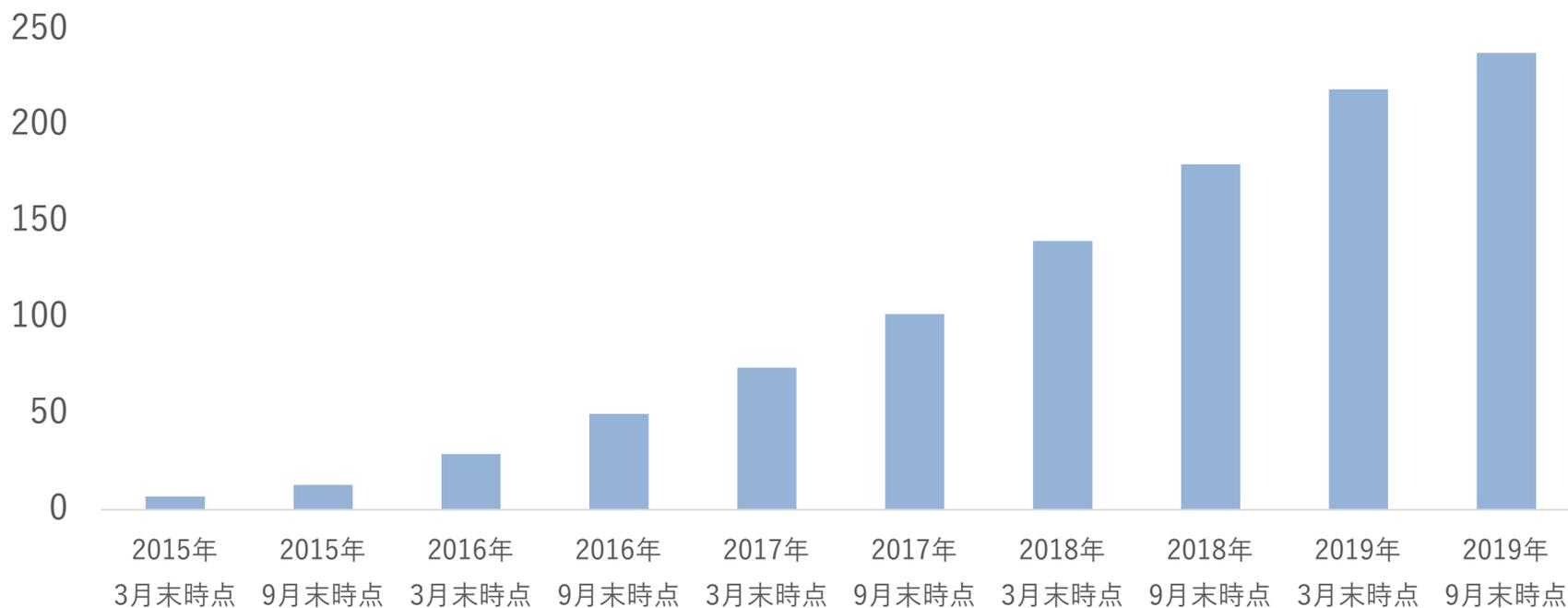
8. 重要施策（3）

<3Dプリンターでの金属製品の受託製造>

- ◆ 2018年4月、アルミダイカスト合金「ADC12」の造形サービス開始
- ◆ 3D造形に関するトータルソリューション「3D+ONE」
 - ・ 設計/デザインの最適化
 - ・ 造形シミュレーション
 - ・ 各種材料試験や仕上加工、量産化への対応まで
- ◆ 3Dプリンターの相乗効果を狙った金型・自動車業界への拡販
(専門部隊を新設済)



【3Dプリンター関連口座数（累計）】



取り扱い金属の種類

- ① マルエージング鋼
- ② ステンレス鋼 (SUS630)
- ③ アルミニウム (AlSi12)
- ④ アルミニウム (ADC12)

画像提供：3D Systems Corporation

9. 株主還元 1株当たり配当金の推移

期初発表から修正しない方針

